

今こそ、 いのちを守る市政を

市会議員11年。母親として、働く女性として、
くらしの願いを届け続けてきました。健やかに
生まれ、育ち、働き、年を重ねられるまちへ。



Miyata Eriko

山科区 京都市会議員

宮田 恵子



9条を守る女性美術展

ギャラリーかもがわ（堀川出水西）で毎年、「平和を
愛し憲法9条を守る女性美術展」が開催され、100
を超える作品が出品されています。私も、出品して
います。

Profile

- 1973年 京都に生まれ育つ
- 1997年 京都精華大学美術学部造形学科洋画専攻 卒
 - 地球温暖化防止京都会議（COP3）ボランティア、
阪神大震災救援ボランティアなどに参加
- 1998年 京都市職員労働組合書記局勤務、青年部副部長など
- 2003年 京都市会議員初当選
- 2006年 長男出産
- 2007年 次男出産

京都市会議員3期目。美術愛好議員連盟副会長、くらし環境委員会（環境
政策局、文化市民局）などに所属。美大出身の経験を活かし「文化を身近
に」、ごみ減量・分別を、発達障害児・者への支援など、取り組む。

家族：夫、二男
趣味：日曜大工、映画鑑賞、何でも作ることが大好き、スキー、バレーボール

災害に強く、環境にやさしい山科を



台風18号 山科区でも大きな被害が

台風18号（2013年9月）の豪雨により、山科では、建物被害が全壊1件、一部破損21件、浸水被害は床上・床下あわせ229件にも及びました。山科でもかつてないほどの大きな被害となり、牛尾街道は通行止めとなりました。



四ノ宮川沿いにて。ブロック塀がなぎ倒され床上浸水のお宅で

また、御陵駅に水が流れ込んで地下鉄東西線が4日間の運行停止となり、山科駅から烏丸御池までの「代替バス」が運行されました。

私は、被害の現場での泥かきをはじめ、被害状況や要望をお聞きして、復旧と被災者への支援を京都市に求めてきました。そして、被害状況をつかむ人手が足りない事も明らかになりました。命とくらしを守る職員体制が必要です。

焼却灰溶融施設が契約解除に

京都市がすすめてきた焼却灰溶融施設整備。当初の期限から3年半も工事が遅れ最終段階の試運転でもトラブルが続発していました。引き渡し期限となっていた昨年8月末に間に合う見込みがないと判断した京都市は、住友重機械工業株式会社に対して「契約解除」を通告しました。

市が基本構想を発表した2003年から今日まで、排水からのダイオキシン検出、心臓部の炉内耐火レンガの亀裂・損傷、堆

自然エネルギー利用を

ひろげよう

高知県梶原町をみてきました

2011年8月、「2050年までに電気の自給率100%」をめざしている高知県梶原町を視察しました。落差を活用した水力発電（毎時53kw）など、町の電気の27%を自然エネルギーで賄い、自然と上手につきあっています。太陽光発電の設置は105戸で全体の5・8%。間伐材で燃

料（ペレット）も作っていました。

また、焼却灰溶融施設の稼働を中止した高知市も調査へ。いったん稼働したものの、1300度のスラグが流出する事故が起こり稼働を中止。市民と職員が一緒になって資源化（分別）を広げる方針に転換していました。

積物落下による作業員負傷などのトラブルが続発したにもかかわらず、稼働に固執してきた市長の責任は重大です。

日本共産党京都市議団は、事業発表の時から「技術が未完成で危ない。巨額の費用もかかる」と指摘し続けてきました。遅すぎた契約解除の判断について、市長は自らの責任をはっきりさせ、今後、同じような施設整備はしないと明言すべきです。そして、市民に一切負担をかけないよう総工事費175億円を含め市と住友重工は責任をとるよう強く求めています。



焼却灰溶融施設の稼働中止を求める会の様子



梶原町の水力発電を視察（2011年8月）

京都会館再整備 —市民と子ども達が親しめるホールに—

写真は、解体される前の京都会館第一ホールのホワイエ（エントランスからホールまでの広い空間）で、内・外の空間の連続性、水平性が特徴でした。しかし、いま、建物はまっぴたつ、北側半分は解体されています。

私は、「びわ湖ホール」「フェスティバルホール」「神戸文化ホール」「吹田メイシアター」などを視察し、京都会館は、どんなホールをめざすのか、もっと関係者の声を聞き、市民ホールとしてのプランが必要だと考えています。



京都会館第一ホールのホワイエ

だれもが安心して 健やかにくらせるまちへ



山科から 休日急病診療所がなくなる… 受診者800人減少

2011年2月末で山科の休日急病診療所は廃止となり、二条駅前の1カ所だけになった京都市休日急病診療所。区民のみなさんと取り組んだアンケートでは、「二条駅前までは遠すぎる。病気の子どもと行けない」などの切実な声が多く寄せられました。廃止前の年と比べると、山科区からの小児科・内科への受診者は、800人も減っています。

山科区の受診者数

	2010年	2011年	増減
小児科	900人	370人	▲530人
内科	391人	129人	▲262人



廃止された休日急病東診療所(区役所西側)

高すぎる国保料の引き下げを

党議員団がこの事を指摘すると、「三つの救急告知病院で受診されており、特に問題はおこっていない」「山科の状況はつかんでいない」との冷たい答弁の京都市。何度も追及し、やっと「実態をつかむ」との答弁を引き出しました。「重症化する前に診てもらおう」のが、子どもの病気では重要です。山科での診療所復活に引き続き取り組みます。

国民健康保険会計の単年度黒字額

2008年度	約13億円	2009年度	約11億円
2010年度	約15億円	2011年度	約27億円
2012年度	約27億円		



国保料引き下げを求める街頭署名をつづけてきました。

険料滞納による学資保険などの差し押さえをやめよと議会で追及していますが、市は「特に痛みは感じていない」などとひどい答弁をしています。

「働き続けられない」保育士 しわ寄せは子どもに

「保育所に負担となることをすれば、京都市の補助金が増える」。そんなポイント制が導入された京都市内・民間保育所への補助金(新プール制)。現場では「夏休みなし」「満員の保育室」などの問題が噴出し、保育士の給与が全額保障されず、給料やボーナスの減額も。

また、政府は、保育士資格のない職員も認める「規制緩和」を「子ども・子育て支援新制度」として実施をねらっています。これは、

スクールソーシャルワーカーが 活躍する熊本市に調査へ

保育に対する公的責任を後退させるものです。2012年8月の議員団他都市調査で熊本市へ。スクールソーシャルワーカーを小中学校に配置し、不登校の子どもへの様々な支援を行っていました。区役所、教育委員会、担任教員、児童相談所とバラバラになりがちな動き・認識をつなげる仕事で、熱意あふれる担当職員のお話に感動。スタッフの方は「まだまだ体制の充実が必要」



熊本市子どもセンターにてお話を聞きました

「よりよい京都市美術館へ」代表質問でも取りあげ

私は美大出身の経験を活かし、将来構想を議論中の市美術館について、「若手支援」「学芸員増」「収蔵作品展の充実」等を要求してきました。2013年度の京都会館を含めた利用料金大幅値上げでは「負担を増やせば若手をはじめ活動できなくなり、入場料の値上げにも。文化芸術を市民から縁遠くするな」と厳しく指摘。また、現在の市民アトリエ(美術教室)がなくなる問題では、「芸術家を生み出してきた歴史ある場。活動保障を」と取り組んでいます。



80周年をむかえる京都市美術館にて

と切望されていました。京都市では、いま「困難校」への配置だけと大変遅れています。すべての子どもたちを視野に入れた体制の強化、抜本的な改善が必要です。

身近な願い 届けつつづけて



音羽児童館がスタート 安朱学区の学童クラブ改善を

この間、西野児童館に続き、音羽児童館が完成。山科区では安朱学区に「山階児童館の分室」として学童保育（クラブ）ができましたが、登録している子どももしか通えず、施設も狭く、のびのびすごせません。共働きの家庭も増える中、放課後などに家庭の役割を果たし専門の指導員が見守る学童保育や、広く地域の子ども・保護者が交流できるオープンな児童館がもつと必要です。京都市に対して「児童館130館整

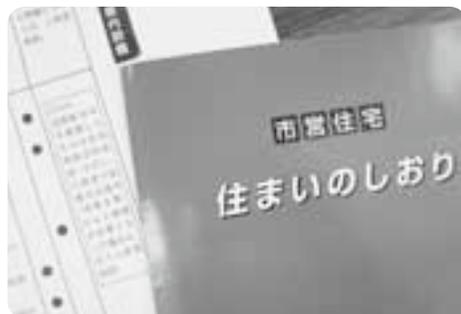


小学校の空き教室を利用した音羽児童館にて

備後の目標が必要」と強く要求中です。保育園も児童館・学童保育も増やしましょう。

市営住宅の「風呂がま」取替え・修繕、費用負担が市(公社)に

市営住宅の「風呂がま」取替え・修繕の費用が入居者負担となっていた問題について、京都市が設置して10年以上たてば、住宅供給公社の負担へと変更になりました。議会では、「入居者負担となっている政令市は少ない」と迫ってきました。長年取り組んできた運動の成果です！



●取替え・修繕の問い合わせ
京都市住宅供給公社 075 (223) 2121
〈山科区の現在対象となるところ〉
音羽、音羽千本、東野、大宅、柳辻西

雑がみの分別スタートへ まごころ収集をひろげよう

「高い有料袋の値下げを」「分別・リサイクルの拡大を」とたびたび議会で取り組んできました。燃やすごみの中の4割は紙ごみで、リサイクルできるものはそのうち約6割も。京都市もやっと2011年から分別を積極的に市民に呼びかけるようになり、雑がみ（新聞、雑誌、ダンボール、紙



雑がみ分別用の袋が配られています。

パック以外の紙製品など）を分別する「雑がみの保管袋」の配布がはじまりました。2015年度中には全市で取り組むことを目標にしています。また、高齢や障害のある方など、ごみ出しに困っている方への「まごころ収集」を妊婦にも拡大をと生活支援充実を提案してきました。今後改善が必要です。引き続き、公約実現にがんばります。

学校給食食器への 清水焼・京焼を広げて

産業観光局に対し、「清水焼の給食食器」の普及拡大で、子どもたちが伝産品に触れる機会の拡大をと求め、「価格の問題がクリアできれば」と前向きな答弁がありました。現在、地元山科区で1校だけ導入されています。

陶磁器の破損率は年5〜14%。ポリ系の食器は経年劣化の関係から4年で交換となり、年率にすると25%の破損率です。清水焼の生産者も販路拡大に苦労があるところ

る。京都の子どもたちが伝産品に接する機会が増えれば、後継者育成・需要の拡大につながります。全国でも琉球漆器、伊万里焼などが地元の学校で使われています。京都市内で使われるアルマイト食器は全国で10%以下の使用状況で時代おくれです。



「京都の学校給食で地場の陶磁器の活用を」と申し入れ(2012年11月)

地域要求

安心してくらせる山科を



2013年9月の台風18号で市職員の人手不足が明らかになりました。疏水沿いの倒木も調査。



安全なまちづくりを



地域循環バスの充実をめざして

鏡山学区の渋谷通りに、昨年3月から1日2便・京阪バスが乗り入れ。「長く走らせてほしい」とも要望されています。



商店街・地域活性化

毎年、山科商店街周辺で行われる「ぐるっとふれ愛 まちフェスタ」「子どもフェスタ」も応援。



子どもの医療費助成ひろげよう

通院で一人当たりの窓口支払いが「月額3000円まで」に改善しました(市役所へ要望にこられたみなさんと)。



東野公園に災害時マンホールトイレ

要求してきた災害時のマンホールトイレ。今回、東野公園に10個整備へ。



東日本大震災被災者支援



募金活動、避難者支援にすぐ動きました。

大阪法務局へ金融円滑化法問題で



住宅ローン金利引き下げへしっかり対応をと交渉。

通学路の安全対策 安祥寺川の上へ歩道工事



初当選以来、地域のみなさんと取り組んできました。2014年工事スタート。

山階小学校エコ改修



老朽対策で工事中(2013年度)

市民とともに 市政を動かす

14人の日本共産党京都市会議員団

14人の日本共産党京都市会議員団は、市民のみなさんと力をあわせ、市民いじめの悪い政治とキッパリ対決して、市議会でもねばり強い論戦をおこなうとともに、つねに建設的な対案を示し、みなさんの切実な要求や願いを次々に実現させてきました。



安倍内閣の暴走にストップを

国民の「知る権利」を奪う秘密保護法の強行成立、消費税増税、社会保障解体、TPP強行、原発推進など、安倍自公政権は、あらゆる分野で暴走を続けています。共産党議員団は、安倍政権の暴走にストップをかける国民的運動の先頭に立つとともに、門川市長に対し「市民のくらしを守る立場から国に対し物を言うべき」と迫ってきました。しかし、市長は国いなりで、消費税増税や社会保障解体も推進の立場です。市長与党も昨年11月市会に56団体から出された「増税中止」の請願を不採択にしました。

秘密保護法は廃止すべき



4月からの消費税増税中止を



ムダな大型公共事業をストップさせる

共産党議員団は、試運転開始後もトラブルが続いた焼却灰溶融施設について、「技術的に未完成の施設であり、ムダづかいの典型だ」と批判。市民のみなさんとともに「稼働中止」を求めてきましたが、昨年8月に住友重工との「工事契約解除」に追い込みました。

■高速道路未着工3路線

共産党議員団は、ムダと環境破壊の市内高速道路建設に当初から反対してきました。残る未着工3路線（堀川線・西大路線・久世橋線）の総事業費は2900億円。計画の中で、「計画の中止を繰り返して求めてきましたが、2012年3月の市議会でも、市長は事実上、「廃止」を表明しました。



未着工3路線

市民サービス切り捨て、職員削減の「京プラン」は撤回を

4年間で250億円の福祉・教育予算を含む経常経費を削る「京（みやこ）プラン」実施計画は、国の構造改革路線をそのまま京都に持ち込むもので、くらしを守るためには、「京（みやこ）プラン」の撤回が必要です。

市バス・地下鉄運賃、水道料金の値上げ中止を

消費税増税にあわせた市バス・地下鉄運賃の値上げ、上下水道料金の値上げが提案されましたが、これに反対して議会で論戦をおこなったのは日本共産党だけでした。他党派・無所属の議員は、昨年10月からの水道料金値上げも含め、すべての値上げ提案に賛成しました。



「市民の宝物」

敬老乗車証を守れ

敬老乗車証について、京都市は、乗るた

台風18号被害への緊急対策と復旧支援に全力

市内にも大きな被害をもたらした昨年9月の台風18号。共産党議員団として、200カ所をこす被害現場を調査し、緊急の対策と復旧支援などについて、京都市に3次の申し入れを行いました。



台風18号の被害対策について京都市に申し入れ



びに一定のお金を払う「応益負担」の制度に変えようとしており、「敬老乗車証を守れ」の市民のたたかいは大きく広がっています。

昨年9月に開催された「敬老乗車証を守ろう！市民集会」には170人が参加。今年2月までに、市長に対して8388筆の要望署名が提出されました。

みなさんと力をあわせ、切実な要求を次々に実現

市営住宅の風呂がまは 京都市の責任で取り替えに 請願の紹介議員になったのは共産党だけ。毎年、市に要望してきました。

市バス均一運賃区間が 嵯峨・嵐山地域に拡大

10年来の地域住民のねばり強い運動と市議会での論戦が実ったものです。

西賀茂北部の柵野に 市バス路線が走ることに

西賀茂車庫までの市バス路線延長を求めてきた住民の悲願が実現したものです。

JR太秦駅、阪急西院駅等で バリアフリー化が前進

2014年度はJR桃山駅、阪急嵐山・松尾大社・上桂駅で基本構想が策定されます。